

よこすか E C O 通信



第15号(平成26年12月)

発行: 横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議

あかりと「光害」

冬場は太陽が沈むのが早く、18時過ぎにはもう外は真っ暗です。暗い道を歩くとき、道沿いに照明があると、ホッと安心します。私たちにとっては嬉しい「あかり」ですが、使い方をまちがうと害にもなる、ということを考えたことはありますか? 「光害(ひかりがい)」という言葉、あまり聞いたことのない言葉ではないでしょうか。

自然と共生するあかり

「光害」とは、照明機器の光が、本来の対象以外にまであたり、悪影響がでることをいいます。街が夜でも明るくて、星空が観察できない、という現象も光害の1つです。街路灯や広告照明のあかりが空まで照らしていたり、家やビルの室内のあかりが外にもれだしていたりしています。もれだしたあかりは、私たち人間の活動だけではなく、生物の生活にも影響を及ぼします。

例えば、昆虫には、ホタルなどの光を嫌うもの、ガなどの光を好むものが出て、どちらの生活にも影響が出ます。タヌキなどの夜行性の動物へも影響があると言われています。

また、植物の中には、日のあたる時間の長短をとらえて、成長をするものがあります。イネは日の長さが短くなることを感知して*、穂を出すタイミングを図っているのです。夜の照明の影響が大きいと言えます。街路樹も種類によっては、影響を受けるので、街路照明などの配置を気をつける必要があります。

照明は、安全や安心の観点から、私たちには必要なものです。そのため、ガイドラインによって、影響の少ない照明を使うことが進められています。例えば、横須賀市の公園で使う照明は、光害に配慮した、環境への影響の少ないものです。「くりはまみんなの公園」、「佐原2丁目公園」といった公園のほか、街の中の小さな公園でも光のもれが少ない、環境にやさしい照明を使っています。

自然と共に人間が暮らしていくためには、こういった心づかいが大事なのではないのでしょうか。



「佐原2丁目公園」の照明
(写真提供 公園建設課)

参考 環境省「光害対策」 http://www.env.go.jp/air/life/light_poll.html

*正確には、暗い時間が長くなることを感知しています。

裏面には季節の生き物図鑑「足もとの『虫』たち」の掲載があります。

冬の環境学習講座などのお知らせ

横須賀市自然・人文博物館

トピックス展示「グルメな弥生人～豊かな海の恵み～」

日 時 平成27年1月11日（日）まで

場 所 横須賀市自然・人文博物館 常設展示室
入場自由



「身近な野鳥の観察」

日 時 平成27年2月8日（日） 9:00～12:00

場 所 大矢部周辺

内 容 通年見られる鳥や冬の渡り鳥など、身近な野鳥の観察

定 員 30名（小学生以上、小学生は保護者同伴）

締 切 平成27年1月24日（土）

申 込 往復はがきに行事名・参加希望者全員（家族に限る）の住所・氏名・年齢・電話番号を往信面に、ご自分の住所・氏名を復信宛名面に記入し、博物館へ
・希望者多数の場合、市内在住者を優先します。
・野外の催しは参加費50円が必要です。

問合先 横須賀市自然・人文博物館
〒238-0016 横須賀市深田台95
電話824-3688

湘南国際村めぐりの森 親子・森の体験教室 ～協働参加による22世紀の継続した森づくりを目指して～

「生き物を育む森づくり」

～カブトムシや森の虫たちが住める環境をつくろう！～

日 時 平成27年1月31日（土）10:00～14:00

場 所 湘南国際村めぐりの森

定 員 子どもと保護者10組程度

持ち物 お弁当、飲み物、雨具、履きなれた靴

申 込 住所・氏名・性別・年齢・電話番号を書いて、
電話・FAX・E-mailのいずれかで問合せ先へ
※締切はありません。

問合先 協働参加型めぐりの森づくり推進会議「自然ふれあい楽校」グループ 森林整備活動担当：NPO法人オーシャンファミリー 海洋自然体験センター 海野
〒240-0116 三浦郡葉山町下山口1741
電話046-876-2287 FAX046-876-2297
E-mail oceannet@fancy.ocn.ne.jp

三浦半島自然ふれあい楽校 2014年度草地・樹林地管理作業

日 時 1月：10（土）、15（木）、20（火）、25（日）、30（金）

2月：5（木）、10（火）、15（日）、20（金）、25（水）

3月：5（木）、10（火）、15（日）、20（金）、25（水）、30（月）

場 所 湘南国際村めぐりの森入口

時 間 9:30～15:00

内 容 里山を育てるための管理作業です。雨天中止。午前だけ午後だけの参加も可能です。

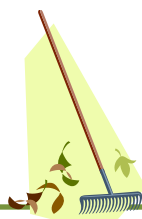
持ち物 作業に適した服装、軍手、弁当、飲み物

問合先 三浦半島自然ふれあい楽校

代表 野崎 章子

電話080-5475-1395

E-mail aki-nozaki@jcom.home.ne.jp



コミュニティセンター

「バードウォッチング」

日 時 平成27年2月18日（水） 10:00～14:00

（雨天時：2月25日（水））

場 所 逸見コミュニティセンター 学習室、塚山公園ほか

講 師 鈴木茂也さん（日本野鳥の会神奈川支部長）

定 員 30名（抽選）

費 用 保険代50円

締 切 2月4日（水）

*申込時に7～8倍の双眼鏡を持参できるか記入



「布ぞうりにリメイク」

捨てる前に再利用を考えて、古布（浴衣や古着など）から布ぞうりを作りましょう。

日 時 平成27年3月3日（火） 9:30～15:00

場 所 浦賀コミュニティセンター 和室

講 師 「芙蓉会」の皆さん

定 員 16名（抽選。男性歓迎。）

費 用 材料費100円

締 切 2月16日（月）

申 込 講座名・住所・氏名・年齢・電話番号を記入して、往復はがき・E-mail・窓口（返信用はがきを持参）で、各コミュニティセンターへ

問合先 逸見コミュニティセンター

〒238-0045 東逸見町2-29 電話823-3205

E-mail heph-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp

浦賀コミュニティセンター

〒239-0822 浦賀5-1-2 電話841-4184

E-mail urph-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp



横須賀エコツアー「観音崎周辺に会津藩士の墓など会津藩の史跡を訪ねる」

日 時 平成27年2月22日（日）10:00～12:00

場 所 県立観音崎公園周辺（集合場所：バス停「観音崎」前）

定 員 20人（抽選）

内 容 江戸時代後期に江戸湾を警備した会津藩士の墓、観音崎台場跡、陣屋跡などを巡るツアー

申 込 参加者全員の〒・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号・ツアー名を書いて、問合せ先へ
エコツアーHP（<http://yokosuka-ecotour.jp/eco/>）からも申込可能。

締 切 平成27年2月16日（月）

問合先 観音崎ビジターセンター

電話843-8316 FAX844-4150

E-mail info-kanonzki@kanagawaparks.com

環境活動実践講座

「地域生態系保全コース」（神奈川県）

日 時 1月24日・31日、2月7日〔土曜・全3回〕
10:00～15:00 *初日 ～15:30

場 所 神奈川県環境科学センター（平塚市四之宮1-3-39）他

対 象 神奈川県在住または在勤18歳以上

定 員 32人（抽選）

内 容 地域の生態系保全や生物多様性について学びます。

締 切 1月13日（火）必着

申 込 HPの応募フォーム又はハガキ

詳しくは下記環境学センターHPをご覧ください。

<http://www.k-erc.pref.kanagawa.jp/learning/event/event.html>

問合先 神奈川県環境科学センター環境活動推進課環境学習担当

〒254-0014 平塚市四之宮1-3-39

電話0463-24-3311（内線417）



よこすか環境フォーラム2015

スカリンも
来るよ!!



日時：平成27年1月31日（土）13：00開場、13：30開演
会場：ヨコスカ・ベイサイド・ポケット
入場無料

横須賀市内で活動している活動団体のポスター展示や、子どもたちのステージ発表、環境ポスターコンクール・夏休みエコチャレンジポイントの表彰式を行います。横須賀市で行われている環境の活動を一同にご紹介します！

今年はステージイベントとして「JAXA（宇宙航空研究開発機構）」のタウンミーティングを行います。宇宙から見た地球は蒼く、美しく輝いているといいます。宇宙という広い視点から、環境の事を考えてみませんか？タウンミーティングでは、会場の参加者の方も自由に意見交換ができます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

◆ステージプログラム

①表彰式 環境ポスターコンクール、
夏休みエコチャレンジポイント

②発表！私たちのエコ活動

市内の環境活動の発表を行います。
小学生の元気な発表もあります！

③JAXAタウンミーティング

環境そして宇宙に関する皆さんの
質問にJAXA職員が答えます。



H25フォーラム 発表の様子

◆フロア展示

- ・かんきょう活動展示
- ・チャレンジ！環境クイズラリー
- ・スカリンへ環境メッセージ
- ・「環境ポスターコンクール」入賞作品展

来場された皆さんからの、環境にまつわるメッセージを募集！
メッセージは会場に
展示します。

環境ポスターコンクールは、「環境」をテーマに、小・中学生の描いた作品を募集する絵画コンクールです。平成26年度の入選作品を展示します。このポスターコンクールは、市内企業の協賛で行っています。

【協賛企業（五十音順）】

イオンリテール(株)久里浜店、ウスイホーム(株)、(株)AFT、(株)クリーンパトロール、京浜急行電鉄(株)、湘南衣笠ゴルフ、NPO法人湘南国際、湘南菱油(株)、電力中央研究所、東京ガスライフバル横須賀、東京電力(株)藤沢支社、東芝ライテック(株)、(株)トライアングル、日産自動車(株)追浜工場、横須賀グリーンゴルフ、(株)横須賀建具アルミセンター、横須賀みかさライオンズクラブ、横須賀モアーズシティ



お知らせ

東京ガス環境おうえん基金

東京ガスのお客様1000万人達成を記念に設立されました。
地域に根差した環境活動を応援する助成制度です。

助成の種類：①スタートアップおうえん

新たに取り組みを始める環境活動に対する助成

②パワーアップおうえん

2年以上継続した活動を、さらに発展させる活動に対する助成

助成金額：1件あたり10万円～100万円（総額1000万円）

募集期間：12月1日（月）～平成27年1月15日（木）消印有効

交付時期：平成27年4月初旬予定

申込方法：下記HPをご覧ください。

問合せ先 （公財）日本環境協会 東京ガス環境おうえん基金事務局

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16

馬喰町第一ビル9F

電話03-5643-6262 FAX03-5643-6250

http://www.jeas.or.jp/activ/prom_02_00.html

日立環境財団 環境NPO助成

持続可能な地球環境や人間社会を構築する上で、重要な役割を担うことが期待される環境NPO/NGO、任意団体を助成します。

応募資格：①NPO法第10条の規定に基づき設立された国内の法人

②環境分野での実践活動実績を有する国内の任意団体

対象活動：①環境と経済との統合に資する活動

（循環型経済社会実現の取組みなど）

②環境問題の解決に資する科学・技術的活動

（自然エネルギー活用、環境に有効な科学技術の検討など）

助成金額：1件当たり上限150万円（総額800万円）

募集期間：10月1日（火）～平成27年1月16日（金）必着

交付時期：平成27年4月下旬

申込方法：下記HPをご覧ください。

問合せ先 日立環境財団

〒100-8220 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号

丸の内センタービル12階

電話03-5221-6677 FAX03-5221-6680

<http://www.hitachi-zaidan.org/kankyo/works/work03.html>

Yフェスタ追浜 環境コーナーへ出展しました

10月18日（土）追浜地区の地域を挙げてのイベント「Yフェスタ追浜」の「秋まつり in NISSAN」で環境コーナーの出展を行いました。当日はお天気も良く、ハロウィーンの仮装をした子どもたちを始め、たくさんの方が来場していました。環境コーナーは、日産自動車(株)、東京ガス、横須賀市の3団体が出展しました。

横須賀市では「エネルギークイズ」と「発電体験（手回し発電機）」を用意し、挑戦してもらいました。「発電体験」は、ハンドルを回して白熱電球、蛍光灯、LEDに光をともします。これが子どもたちを中心に予想以上の人気に。廻す力が、「ひかり」というわかりやすい形で見えるので、LEDの省エネぶりも体感できた模様です！



家のまわりなどで落ち葉をかき分けたり石をひっくり返したりすると、下記のようないろいろな「虫」を見つけることができます。

①ダンゴムシやワラジムシのなかま

甲殻類（こうかくるい）という、エビやカニなどと同じグループの虫です。中でも、ダンゴムシとワラジムシなどは等脚類（とうきゃくるい）と呼ばれ、14本の歩く足（脚）をもちます。ボール状に丸になれるダンゴムシには、よく見かけるオカダンゴムシのほか、おしりの形で区別ができるコシビロダンゴムシの仲間がいます（図1）。

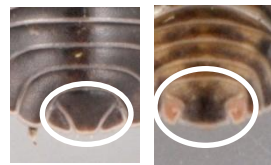


図1 オカダンゴムシ（左）とコシビロダンゴムシの一種（右）のおしりの違い。

②ムカデやヤスデのなかま

多足類（たそくるい）という、足の数が多いグループの虫です。足が多くて長いゲジのなかま（図2）も含まれます。ムカデとヤスデはどちらも細長く足が多いという点で似ていますが、ムカデのなかまは体の1節に足が2本ずつ、ヤスデのなかまは1節に4本ずつの足をもつので、かんたんに区別ができます（図3）。タマヤスデというヤスデはダンゴムシそっくりに丸まりますが、足の本数が34本と多いので区別ができます。



図2 オオゲジ。



図3 オオムカデの一種（左）とババヤスデの一種（右）の胴体の腹面、一節あたりの足の本数が違います。

③クモ・ダニのなかま

このグループは鋏角類（きょうかくるい）と呼ばれ、その大部分はダニのなかまが占めているのですが、肉眼ではほとんど見ることができないくらい小さい虫です。クモは地上で網をはるイメージが強いですが、コモリグモ（図4）など徘徊性（はいかいせい）のクモは、網をはらずに落葉などにまがれて歩き回って獲物を探します。



図4 コモリグモの一種。



図5 ヒゲジロハサミムシ。

④昆虫のなかま

ダニに匹敵するくらい小さく、どこにでもたくさんいるトビムシのような昆虫もありますが、ダンゴムシなどとともに、アリ、ハサミムシのなかま（図5）、ツチカメムシやハネカクシのなかまなどを見つけることができます。



図6 ツルグレン装置。

上記4グループの「虫」たちは、節足動物（せつそくどうぶつ）という大きなグループを構成するなかまです。土の中には他にもミミズのなかま（環形動物・かんけいどうぶつ）やカタツムリのなかま（軟体動物・なんたいどうぶつ）などがいます。足もとの「虫」たちは、その多くが光や乾燥が苦手、土の中からひろい上げるとすぐに地下にもぐろうとします。ツルグレン装置（図6）という実験機器は、こうした性質を利用して落葉や土から「虫」を集めるためにもちいられます。

（横須賀市自然・人文博物館 内船学芸員）



昆虫の進化に関する研究がサイエンス誌に発表されました！

世界13の国と43研究機関、101人から成る国際研究プロジェクトによる研究成果がアメリカの著名な科学雑誌「サイエンス」に掲載されました。昆虫が同誌の表紙を飾ることは、非常に珍しいそうです。この研究プロジェクトには、当コラムにも寄稿いただいている、内船俊樹学芸員も参加されています。今回の共同研究の成果のポイントは下記のとおりです。

- ・100種を超える昆虫の約1,500遺伝子に基づいた昆虫全体の強固な系統仮説を構築
- ・昆虫進化上のイベント（陸上進出や飛翔など）の年代推定に化石情報も利用
- ・約5億年前に陸上植物とともに初期の陸上生態系を作り上げたことなど、昆虫の多くの新事実を発見

みなさまからのECOな情報も募集してます。

発行：横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力：横須賀市自然・人文博物館

発行元：〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課

TEL: 046-822-8327、FAX: 046-821-1523、E-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

☆ HPは横須賀市HPから「ECO通信」で検索。（カラー版でご覧いただけます！）

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/k-gakusyu/ecotushin/ecotushin.html>

この情報誌は、横須賀市環境教育・環境学習ネットワーク会議の事業の一環として発行しております。「環境教育・環境学習ネットワーク会議」とは、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。